

株主の皆様へ



森下仁丹株式会社

第75期事業報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

証券コード：4524

## ごあいさつ

株主の皆様には平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第75期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。よろしくご高覧賜り、今後ともより一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 事業の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、東日本大震災により影響を受けたサプライチェーンや生産設備の復旧も進み、消費の自粛も緩和され一部回復の動きが見られるようになりました。しかしながら欧米諸国の金融危機に端を発する為替相場の高止まりや原油価格高騰などにより、国内景気は依然として厳しい状況が続いております。

当社グループの属する健康関連業界も、健康意識の高まりは持続しているものの、消費者の生活防衛意識による価格選好意識の高まりや業界内の競合激化により当社グループを取り巻く環境は引き続き厳しい状況下にあります。

このような状況のなか、当社グループとしてはヘルスケア事業ならびにカプセル受託事業の各々の事業において積極的な諸施策・諸活動を展開してまいりました結果、売上高は8,563百万円（前期比10.7%増）となりました。

利益面においては、生産効率の向上による原価率の低減による粗利益の改善が大きく、効果的なプロモーション活動など費用の効率化が図れたことから、営業利益は279百万円（前期比210.5%増）となりました。

さらには営業外収入として当社の研究・技術開発に対する様々な公的機関からの補助金収入があり、経常利益は364百万円（前期比247.4%増）、当期純利益は413百万円（前期比421.2%増）となりました。



代表取締役社長  
駒村 純一

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

### ①ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、広告宣伝活動を主力商品「ビフィーナ」に強化したこともあり、同商品の売上高は2,663百万円（前年同期比35.6%増）と引き続き順調に推移いたしましたが、競合の激しい青汁等他通販商品群は引き続き苦戦を強いられました。また、リテール分野では昨年より注力しているOTC医薬品や医療器具が好調に推移しており、ヘルスケア事業の売上高は6,180百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

損益面では、製造原価のコストダウンと好調な「ビフィーナ」の販売が貢献し、当期のセグメント利益は137百万円（前年同期はセグメント損失81百万円）となりました。

### ②カプセル受託事業

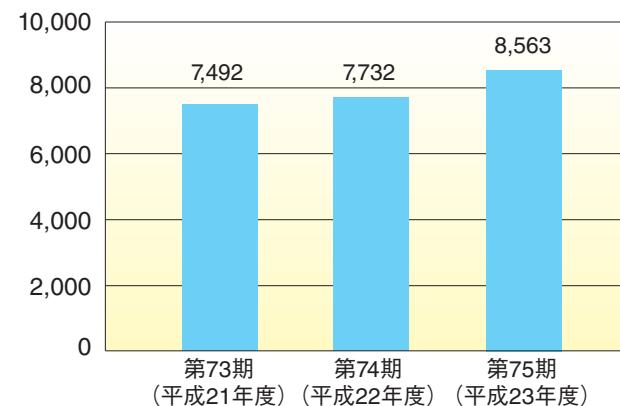
当セグメントにおきましては、医薬品分野のカプセル受託は引き続き好調に推移し、さらに円高の影響を受けつつも受託先および受託量の拡大に努力したことにより、売上高は2,322百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

損益面では、円高の影響もあり当期のセグメント利益は165百万円（前年同期はセグメント利益176百万円）にとどまりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

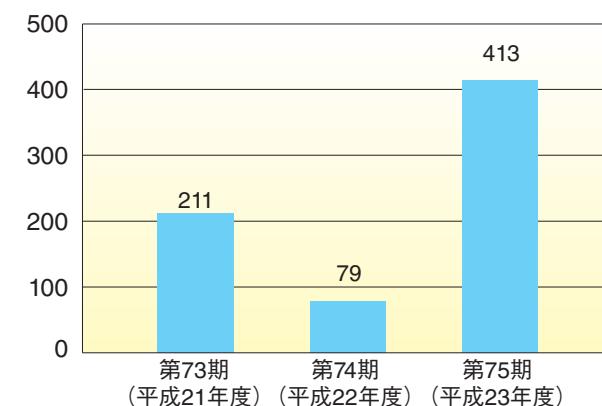
## ◆売上高（連結）

（単位：百万円）



## ◆当期純利益（連結）

（単位：百万円）



## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当連結会計年度 (平成24年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成23年3月31日現在)
(資産の部)			
I 流動資産		4,133	3,673
現金及び預金		1,858	1,685
受取手形及び売掛金		1,005	881
商品及び製品		539	506
仕掛品		300	272
原材料及び貯蔵品		255	254
繰延税金資産		65	2
その他貸倒引当金		116	77
		△ 8	△ 7
II 固定資産		7,776	6,742
(1)有形固定資産		6,405	5,479
建物及び構築物		2,499	2,592
機械装置及び運搬具		887	648
土地		2,025	2,025
建設仮勘定		651	12
その他		341	200
(2)無形固定資産		178	169
(3)投資その他の資産		1,191	1,093
投資有価証券		1,020	922
その他		178	178
貸倒引当金		△ 7	△ 7
資産合計		11,909	10,415
(負債の部)			
I 流動負債		2,671	1,626
支払手形及び買掛金		948	898
1年内返済予定の長期借入金		150	100
返品調整引当金		17	16
その他		1,555	612
II 固定負債		1,556	1,554
長期借入金		700	650
その他		856	904
負債合計		4,227	3,181
(純資産の部)			
I 株主資本		7,689	7,327
(1)資本金		3,537	3,537
(2)資本剰余金		963	963
(3)利益剰余金		3,321	2,959
(4)自己株式		△ 133	△ 132
II その他の包括利益累計額		△ 7	△ 92
その他有価証券評価差額金		△ 7	△ 92
純資産合計		7,681	7,234
負債・純資産合計		11,909	10,415

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当連結会計年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
I 売上高		8,563	7,732
II 売上原価		3,884	3,793
売上総利益		4,679	3,939
III 販売費及び一般管理費		4,399	3,849
営業利益		279	90
IV 営業外収益		109	42
V 営業外費用		25	27
経常利益		364	104
VI 特別利益		28	27
VII 特別損失		58	20
税金等調整前当期純利益		334	111
法人税、住民税及び事業税		19	29
法人税等調整額		△ 98	2
少数株主損益調整前当期純利益		413	79
当期純利益		413	79

## 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
平成23年4月1日残高	3,537	963	2,959	△ 132	7,327	△ 92	△ 92	7,234
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 50		△ 50			△ 50
当期純利益			413		413			413
自己株式の取得				△ 0	△ 0			△ 0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						85	85	85
連結会計年度中の変動額合計			362	△ 0	361	85	85	446
平成24年3月31日残高	3,537	963	3,321	△ 133	7,689	△ 7	△ 7	7,681

## 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (平成24年3月31日現在)	前期 (平成23年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			
I 流動資産		3,995	3,559
現金及び預金		1,724	1,561
受取手形及び売掛金		1,004	892
商品及び製成品		535	502
仕掛品		300	272
原材料及び貯蔵品		253	251
その他金		184	85
貸倒引当金		△ 8	△ 7
II 固定資産		7,860	6,808
(1)有形固定資産		6,404	5,478
建物及び構築物		2,499	2,592
機械及び装置		884	643
土壌改良費		2,025	2,025
建設仮勘定		651	12
その他固定資産		343	205
(2)無形固定資産		177	168
(3)投資その他の資産		1,278	1,161
投資有価証券		1,016	918
貸倒引当金		268	249
		△ 7	△ 7
<b>資産合計</b>		<b>11,855</b>	<b>10,367</b>
<b>(負債の部)</b>			
I 流動負債		2,630	1,598
支払手形及び買掛金		948	898
1年内返済予定の長期借入金		150	100
返品調整引当金		17	16
その他		1,515	583
II 固定負債		1,556	1,554
長期借入金		700	650
その他		856	904
<b>負債合計</b>		<b>4,187</b>	<b>3,153</b>
<b>(純資産の部)</b>			
I 株主資本		7,676	7,307
(1)資本金		3,537	3,537
(2)資本剰余金		963	963
(3)利益剰余金		963	963
その他利益剰余金		3,308	2,939
固定資産圧縮積立金		3,308	2,939
繰越利益剰余金		880	766
(4)自己株式		2,428	2,172
△ 133		△ 133	△ 132
II 評価・換算差額等		△ 7	△ 92
その他有価証券評価差額金		△ 7	△ 92
<b>純資産合計</b>		<b>7,668</b>	<b>7,214</b>
<b>負債・純資産合計</b>		<b>11,855</b>	<b>10,367</b>

## 損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
I 売上高		8,461	7,570
II 売上原価		3,885	3,795
売上総利益		4,576	3,774
III 販売費及び一般管理費		4,300	3,736
営業利益		276	37
IV 営業外収益		114	52
V 営業外費用		25	27
経常利益		365	62
VI 特別利益		28	67
VII 特別損失		57	18
税引前当期純利益		336	112
法人税、住民税及び事業税		12	12
法人税等調整額		△ 96	3
当期純利益		420	95

## 株主資本等変動計算書

当期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 固定資産 圧縮積立金	繰越利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金		評価・換算 差額等合計
平成23年4月1日残高	3,537	963	766	2,172	△ 132	7,307	△ 92	△ 92	7,214
事業年度中の変動額									
剰余金の配当				△ 50		△ 50			△ 50
固定資産圧縮積立金の取崩			△ 7	7		—			—
固定資産圧縮積立金の積立			120	△ 120		—			—
当期純利益				420		420			420
自己株式の取得					△ 0	△ 0			△ 0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）						—	85	85	85
事業年度中の変動額合計			113	256	△ 0	368	85	85	453
平成24年3月31日残高	3,537	963	880	2,428	△ 133	7,676	△ 7	△ 7	7,668

《新製品のご紹介》

「ヒアルロン酸で洗う」新感覚ヘアケア「パーフェクトアンサー」

2012年5月新発売！

痩せた髪にハリとボリュームを！「きしまない」ノンシリコンシャンプー&トリートメント!!

【商品特徴】

- ① 新しい感覚のノンシリコンシャンプー  
潤いとハリ、そしてツヤを実現するため、シャンプーはノンシリコンにこだわりました。頭皮は健康な髪を育てる土台と考え、汚れや余分な皮脂を落とすと同時に美容成分を与えることで、頭皮、そして髪の根元から毛先まで健康的に育み、美髪へと導きます。
- ② P.Aトータルケアで贅沢に潤って「ハリ・コシ・ツヤ」  
独自の技術で、潤っているのにベタつかず「ハリ・コシ・ツヤ」のある美潤髪に。贅沢なまでの「潤い」と充実の「ハリ・コシ・ツヤ」をご実感いただけます。



頭皮と髪をピュアな状態へリセットする、とろけるノンシリコンシャンプー。

商品名	P.A モイスト&グロス シャンプー
内容量	500mL
価格	1,680円 (税込)



美髪成分をしっかりとし髪内部へ閉じ込める、濃密トリートメント。

商品名	P.A モイスト&グロス トリートメント
内容量	500mL
価格	1,680円 (税込)



日中、いつでもどこでもケアができる美髪美容液。贅沢な潤いとツヤを実現。

商品名	P.A フレグランスグロス トリートメント<ミストタイプ>
内容量	55mL
価格	880円 (税込)



まずは試してみたい、という方に。3日間トライアルセット。



商品名	P.A シャンプー&トリートメント 3日間トライアルセット
内容量	シャンプー 10mL×3個 (パウチ) トリートメント 10mL×3個 (パウチ)
価格	498円 (税込)

《中国初の血糖値上昇抑制素材「サラシア属植物」を用いた事業展開への取り組み》

当社は、農林水産省補助事業として採択された「血糖値上昇抑制素材サラシアの中国における適用可能性」を検証し、2年間に渡る実証事業を完遂致しました。現地での製造、市場性の確認を終え、これをベースに、中国でのサラシアを用いた食品用途の製造・販売、またサラシアの原料販売を目的として、新資源食品の取得へ向けて準備を進めて参ります。

近年、中国は急激な経済成長に伴って食生活が豊かになり、健康志向が年々高まって来ています。特に都市部においては、糖尿病や高脂血症等の生活習慣病が問題となり、中でも糖尿病は患者数が9,200万人を超え、中国は世界一の糖尿病大国となりました。また、糖尿病をはじめ、高血圧、肥満などの患者は低年齢化傾向にあり、肥満児童の増加問題も抱えています。

日本の特定保健用食品に近い、中国において食品の効能効果表示を認める制度「保健食品」が1995年に定められ、国内外の企業が有効性（血糖値抑制や免疫調整など）・安全性・品質の確かな食品を取売できるシステムが整備されたことにより、中国での保健食品市場は近年1,000億人民元（1兆3千億円）を超え、さらに拡大することが予測されます。

スリランカ、インド、タイなどに分布するサラシア属植物は、伝承的に糖尿病に効果があるとされ、健康の為に薬用および食用に供されているものの、未だ中国では利用されておらず、当社は、中国で初めてのサラシア販売を目的とした新資源食品の認可を取得し、さらには保健食品の認可を目指して参ります。

これまでの実証検討の結果、遺伝子レベルでのサラシア鑑別法と有効成分の分析法が確立し、高品質な原料供給が可能となりました。安全性の情報と科学的エビデンスを備えたこの機能性素材を通じて、中国が抱える生活習慣病予防への大きな貢献を目指し、迅速に事業化を進めて参ります。（平成24年4月23日公表）



《アンジェスMGとの経口ワクチン共同研究開発の取組み ～シームレスカプセル技術を応用した医薬品開発プロジェクト～》

当社は、アンジェスMG株式会社（本社：大阪府茨木市／代表取締役社長：山田英）と株式会社ジェノラックBL（本社：沖縄県那覇市／代表取締役社長：瀬脇智満）および東京大学産科婦人科学の川名敬講師（同大学病院女性外科病棟医長）との子宮頸がん治療ワクチン開発プロジェクトに参画し、子宮頸がんの前がん病変に対する経口ワクチンの研究開発に着手致しました。

子宮頸がんの原因ウイルスであるヒトパピローマウイルス（HPV）は、前がん病変の初期段階から検出され、その後、子宮頸部上皮内腫瘍性病変と進むにつれHPVのがん関連蛋白質の発現が増加し、子宮頸がんへと進展します。

アンジェスMGが開発する乳酸菌を利用した治療ワクチンは、HPVの発がん蛋白質に対する特異的な細胞性免疫を子宮頸部へ効率的に誘導することで、子宮頸がんへの移行を回避できる画期的な世界初の治療ワクチンとして期待されています。

子宮頸がんで子宮頸部円錐切除術を行った患者は、その後の早産、低出生体重、帝王切開のリスクが高まることが報告されており、子宮頸部円錐切除術を回避できる意義は大きいことから、他に前がん病変に対する治療法がない現実に鑑み、本治療ワクチンの早期実現が期待されます。

本開発は経口投与したワクチンが胃酸の影響を受けないよう、当社の腸溶性シームレスカプセルに包み、効果的なDDSを目指すもので、実用化すればカプセル経口ワクチンとしては初めての医薬品となります。この腸溶性シームレスカプセル技術は既に当社が神戸大学医学部の白川利朗准教授らのグループと推進中の経口感染症ワクチン開発プロジェクトや、アンジェスMGが開発するNF-κBデコイオリゴを用いた潰瘍性大腸炎治療の核酸医薬プロジェクトでも応用研究されており、今後は腸溶性シームレスカプセル技術を共通の基盤技術とした共同プロジェクトや経口ワクチンの研究会設立も視野に入れ、より付加価値の高い医薬品製剤の共同開発を推進し、早期実用化を目指して参ります。（平成24年5月16日公表）

## 会社概要（平成24年6月28日現在）

### 役員

代表取締役社長	駒	村	純	一
取締役名誉会長	森	下	美	恵子
取締役	武	貞	文	隆
取締役	木	村	雅	則
監査役(常勤)	高	橋	優	夫
監査役	渡	邊	俣	治
監査役	澤	田	洵	己
常務執行役員	高	田	真	一
執行役員	目	黒	一	夫

(注) 監査役のうち渡邊俣治、澤田洵己の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

### 商号

森下仁丹株式会社  
MORISHITA JINTAN CO., LTD.

### 資本金

35億3,740万円

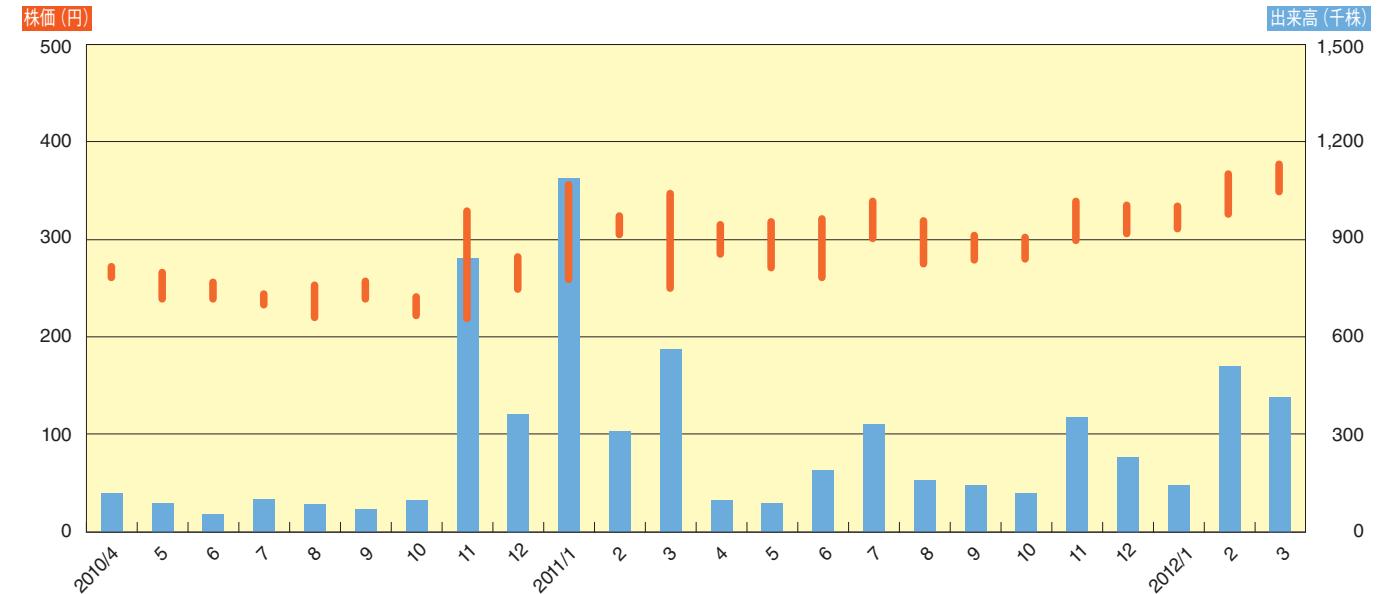
### 事業の内容

医薬品、医薬部外品、医療用具、化粧品、食品および雑貨等の製造販売

### 事業所および工場

本社	大阪府中央区玉造一丁目2番40号	電話(06) 6761-1131(代表)
大阪テクノセンター (大阪工場)	大阪府枚方市津田山手二丁目11番1号	電話(072) 800-1040
滋賀工場	滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960番地12	電話(0749) 48-7370

### 株価および出来高推移



# 株主メモ

事業年度末日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
公告の方法	電子公告 ( <a href="http://www.jintan.co.jp">http://www.jintan.co.jp</a> ) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告により行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
金融商品取引所	株式会社大阪証券取引所 市場第二部 株式会社東京証券取引所 市場第二部
株主名簿管理人 特別口座口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料) 0120-094-777

## 【お 知 ら せ】

### 1. 株券電子化によるご注意

- (1)株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは口座管理機関（証券会社等）を經由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは口座を開設されている口座管理機関にお問い合わせください。
- (4)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

### 2. 配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取になられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

なお、株式数比例配分方式を選択されている株主様におかれましては、詳しくは口座を開設されている口座管理機関にお問い合わせください。